

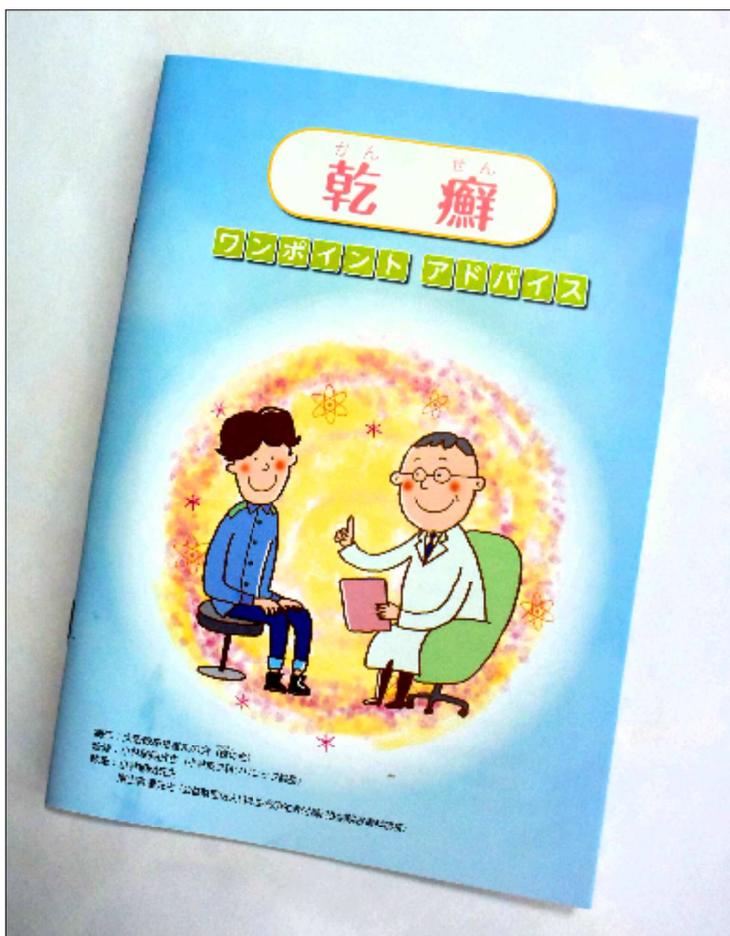
Psoria News

発行

NPO法人 大阪難病連加盟
大阪乾癬患者友の会(梯の会)

「乾癬ワンポイントアドバイス」を発行

小林照明先生監修



この度、大阪乾癬患者友の会(梯の会)では、小林皮フ科クリニック院長で、本会の相談医をして頂いている小林照明先生監修による「乾癬ワンポイントアドバイス」を冊子にして発行いたしました。

「乾癬ワンポイントアドバイス」は本会の会報である「PSORIAN EWS」の2012年(平成24年)8月に発行した第52号から、今年8月に発行した第71号までに掲載された4年間に亘る全20回分をまとめたものです。

2012年当時から、乾癬に関する

医療記事を連載していききたいという希望が幹事会の中にあつたのですが、本会からのお願いを小林照明先生が快く引き受けて頂きまして、連載がスタートしました。

毎回毎回様々なテーマで、年に4回程度の執筆を本当に労を厭わず執筆して頂きました。内容は受診時の注意から始まって、皮膚症状について、外用剤・紫外線療法・内服療法など様々な点について、その時々最新の療法も紹介して頂きながら、大変詳しく、しかも簡潔にまとめて頂きました。

乾癬に関する冊子類はJPA(日本

乾癬患者連合会)が発行した「乾癬ハンドブック」を始めとして、様々な製薬会社によっても作成されているのですが、症状や治療法の概略が中心です。患者の立場に立って、アドバイスしたもので、しかも専門的過ぎず、分かりやすく丁寧に書かれたものはなかなかありません。今回小林先生は、多くの乾癬患者を診療される中で、実際の治療に当たっての進め方やその注意点に至るまで大変分かりやすく書いて頂きました。

また生物学的製剤に関する部分は、本会相談医であり、日生病院副院長・皮膚科部長である東山真里先生に補充執筆して頂き、現時点での最新の治療法もほぼカバーしたものを発行することができました。

執筆の労をとって頂いた小林先生、東山先生には改めてお礼申し上げます。今回は20回までをまとめることができましたが、小林先生によるこのシリーズは今後も継続していく予定です。この「乾癬ワンポイントアドバイス」が会員を始め、多くの乾癬患者の皆様にとって治療のよき指針となり、また心を励ましてくれるものになると信じています。

乾癬ワンポイントアドバイスを発刊して思うこと

小林皮フ科クリニック院長(本会相談医)

小林照明



小林照明先生

2012年から書き溜めてきた文章を今回このような形でまとめていただくことができました。

大阪乾癬患者友の会幹事の皆様には、たいへんお世話になりました。

現在はネット社会と言われるように情報が溢れています。乾癬情報についても同様であり、多くのクリニックに受診される患者さんは抱えきれないほどの情報に頭を混乱させながらやってくると思います。その混乱を整理して正しい理解をもらうように導くのが医師の役割だとは思いますが、説明がうまく患者さんに伝わっていないと思うことが時々あります。私の話術の拙さが原因かもしれません、クリニックから帰られる時の患者さんの表情か

らまだ十分に理解してもらえていないと感じる時があるのです。そこで大阪乾癬患者友の会(梯の会)の会報のスペースをお借りして、文章にしてみようと思いましたが、

幸いにも幹事の皆様の賛同を得まして、実行することができました。ただこの冊子で完成というわけではありません。これから新しい知見、新しい治療薬、新しい治療器が出てくることでしょう。できる限り患者さんへの情報提供のツールとして使わせていただきたいと思っています。

今回の冊子には日生病院の東山先生にも協力して頂いております。私の不得意なところでは、他の先生方の助けも必要になると思われまますので、患者さんのみならず、先生方にもこの場をお借りして、あらかじめご協力をお願いいたします。

それでは、引き続き今後ともよろしく
お願いいたします。

平成29年10月3日

小林皮フ科クリニック 小林照明

わいわいがやがや 女子会 楽しく開催!!

10月15日第16回秋の女子会を開催しました。堂島のホテルエルセラーン大阪6階の日本料理桂というお店で お昼のミニ懐石をいただきました。都会の真ん中というのにお部屋から外を見ると、雨の中にちょっとしたお庭の緑が目に入り、日頃の生活から一時別世界にいるようなしっとりとしたたまたまの素敵なお店でした。

今回は11名参加されました。女子会に参加するために、徳島から来てくれたSさん、梯の会創立からのメンバーで、久しぶりに参加のHさん、皮膚科の師長のYさんも忙しい中参加くださいました。お食事の後、一つのテーブルに集まり、初対面の方もいらっしゃるので自己紹介を兼ね、乾癬の病状と治療の報告をしました。



治療法や薬の経験談は、ご自分の乾癬治療の参考になったのではないかと思います。わいわいがやがや楽しくお話が弾みました。参加された皆さん、ありがとうございました。

次回の女子会は来年春です。よいところがあれば、幹事までご連絡ください。

みなさん、次は12月3日の関西医大での学習会でまた、お会いしましょう。

(副会長 吉岡)



9月8・9日に品川プリンスホテルアネックスタワーで開催された第32回日本乾癬学会に、岡田会長・会員の重本さんとともに参加しました。今回も乾癬学会のご厚意により患者会の広報ブースを設置して頂きました。学会内で最も先生方が通られる場所でしたので、多くの先生方に立ち寄って頂き有意義な広報活動となりました。各患者会の活動紹介冊子や会報などを活用しましたが、特に反響が大きかったのが小林照明先生に執筆して頂いた「乾癬ワンポイントアドバイス」でした。製薬メーカー

が多く作成している患者向け冊子が、他社の治療薬に触れることが禁止されるなど制約がとて増え、てしまいページ数が減少している中で、小林先生が書かれた内容に多くの先生方が注目され複数部を要求されることも多くありました。乾癬学会に完成を間に合わせてくれた小林編集長の交渉力に感謝です。

さらに乾癬学会のご支援により日本乾癬患者連合会（JPA）主催の学習会も会場内にて開催されました。大久保ゆかり先生の司会により、中川秀巳先生に「関節が

痛い」どうすればいいの」乾癬性関節炎は早期診断・早期治療が大切！」、飯塚一先生に「診察を通してみた乾癬患者さんの本音とその対策」の演題にてご講演頂きました。

中川先生より近年日本でも増えてきている乾癬性関節炎（PSSA）の病型分類や発症パターンや併発の予測因子などを説明して頂き、治療ガイドラインも紹介して頂き

乾癬学会

参加記

梯の会事務局長 中山

ました。患者さんもチーム医療の一員であると思っているので、患者さんもそう考えて治療に取り組んでほしい」と結ばれました。

飯塚先生はアメリカでの研究報告などでの性格分類などで、乾癬患者の少数者意識や孤独感などを感じていることから話を始められ、治療による成功体験や認知活動の大切さを教えて頂きました。2017年は乾癬の認知活動について

画期的な年であり、最後に、仲間を持つことは患者の大きな支えとなるため患者会の存在が大きいことを強調されました。

永年日本の乾癬治療をリードしてこられた重鎮のお二人の講演に、学会参加の多くの先生方も学習会に聴講に來られました。また、学習会の最後に徳島大学の久保教授が徳島での患者会新設に向けて決意表明をされました。梯の会に近

い場所での動きですので、これから協力して活動できることが楽しみです。

恒例の患者会懇親会は9日の学習会終了後に品川駅南に場所を移して、70名を超える参加者で大いに盛り上がりました。多くの先生方の参加もありましたが、私は別の打ち合わせがあり最後の記念撮影しか参加できなかったことが残念でした。その分2次会で取り

返してきました。日生病院の東山先生と山下看護師長に飛び入り参加をして頂き、主催者の東京の会から感謝されました。で、梯の会員からも楽しく有意義な活動に多く参加されることを期待いたします。



全員集合 来年は松山で会いましょう！

お知らせ

★編集局では皆さんの原稿を募集しています。乾癬についての自分の体験、自分が行っている治療法、日常生活で心がけていること、乾癬治療に役立った事、その他何でも構いません。エッセイ・詩・短歌・俳句などもぜひ投稿してください。お待ちしております。

★「PSORIA NEWS」では「乾癬Q&A」コーナーを設けています。症状や治療法、薬など乾癬に関する質問がありましたら編集局までお寄せ下さい。代表的な質問などを選んで、相談医の先生方に会報上で答えて頂きます。

★「大阪乾癬患者友の会」の幹事会は全て会員や相談医の方のボランティアで成り立っています。会では幹事になって頂ける方を募集しています。幹事の人数が少なく大変困っています。自分のやれる範囲でももちろん結構ですから、ぜひお手伝い下さい。当面次の仕事をお手伝い頂ける方を探しています。 1) 定例総会等行事のボランティア 2) 会報送付作業のボランティア 3) ホームページ管理等のボランティア 4) 幹事会参加メンバー(5名程度)

ホームページのご案内

大阪乾癬患者友の会(梯の会)では、ホームページを作成・運用しております。乾癬についての治療法・薬・生活上の注意や総会のお知らせ・会報の抜粋・掲示板・乾癬関係のホームページへのリンクなどが掲載してあり、役に立つ情報が一杯です。ぜひ御覧になって下さい。ホームページアドレスは下記の通りです。



<http://derma.med.osaka-u.ac.jp/ps/>

会員の皆さまへ 会費納入のお願い

年会費を下記の要領で徴収させていただいております。より充実した会の運営のため何卒、ご理解のほど宜しくお願いいたします。

会 費：年間 3000円

納入方法：郵便振替

納入期限：毎年3月末日までに納入お願いします。振込用紙に必要事項を記入のうえ郵便局の振り替え口座に振り込みをお願いします。会費につきましては、未納の場合、自動的に退会となります。郵便振替 口座番号：0920・2・155745「大阪乾癬患者友の会」

「PSORIA NEWS」

第72号 2017年(平成29年)11月発行

発行：NPO法人 大阪難病連加盟

大阪乾癬患者友の会(梯の会)

事務局：550-0012大阪市西区立売堀6丁目3番8号

日本生命済生会附属日生病院皮膚科内

TEL 06-6543-3581

E-mail

info-psoria1@derma.med.osaka-u.ac.jp

2017年 大阪乾癬患者友の会 幹事

会長：岡田
副会長：妻木
副会長：吉岡
事務局長：中山
会計・イベント：桔梗
監査・難病連：加納

会報編集：小林
会報編集：長生
難病連・広報：宮崎
女子会：吉田

幹事：池内
幹事：山田
幹事：高橋
幹事：田崎